

河北新報

河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)

□ 科学を楽しみむ発明クラブ発足 □

地域での学びは、学校の勉強を超えた内容を扱う場面も多い。指導者として、さまざまな分野の専門家の参加が求められる。ものづくりを通じ、子どもの創造性をはぐくむ活動をしている発明クラブもその一つだ。

四月には、発明協会宮城県支部と仙台コア・ライオンズクラブ、仙台市が、青葉区に「仙台市青葉少年少女発明クラブ」を発足させる。泉、太白区に次ぐ市内三番目のクラブで、小学四年生―中学一年生が対象。企画・運営には会社社長や大学の研究者らがボランティアで携わる。

製作するのは「科学技術の集大成」とも言われるロボット。

提供の合いのれ触

設計や製作、制御方法を学び、科学の楽しさを味わってもらうのが狙いだ。外国人講師を迎えた英語体験、ロボットコンテストへの参加なども検討している。

同クラブ運営委員長の秦従道さん(五九)は「次代を担う子どもを育てるには、地域で教育するシステムが欠かせない。ほかの学校の児童や多くの大人と触れ合うチャンスでもある」と設立意図を話す。

発明クラブは月一回、青葉区本町の斎藤報恩会館で開かれる予定。参加する子どもやボランティアを募集している。連絡先は事務局022(214)1111。